

へぐり 議会だより

第 2 2 0 号
発行・編集
奈良県生駒郡平群町
平群町議会
議会だより編集委員会
議会事務局
Tel・Fax 0745④5 0012
gikai@town.heguri.nara.jp

議会改革をめざして

議会改革特別委員会開催

より開かれた議会を目指し議会改革特別委員会が4月1日スタートしました。

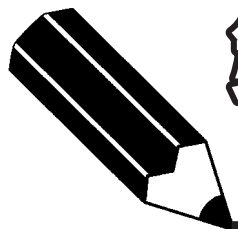
住民代表のチェック機能である議会としても、会議の公開、情報公開、議会への住民参加と町民との交流が必要であると考えます。

議会制度の見直しへの対応、より開かれた議会のあり方など、議会改革に向けての調査検討を行うため、特別委員会を設置しました。

第1回定例会 (3月4日～17日)

目 次

こんなことが決まりました	2～3、10
委員長報告（総務・経済建設・厚生・予算審査 特別委員会）	4～9
一般質問 質問&答弁	11～17
議員先進地視察研修報告	17
委員会活動状況、議会のうごき	18



第1回定例会 (3月)

こんなことが決まりました

平成21年第1回定例会が3月4日～17日までの14日間の会期で開かれました。

初日、町長より新年度一般会計及び特別会計予算案12件、条例の制定・廃止・一部改正案12件、平成20年度補正予算案6件、同専決処分1件、平群町道路線の廃止・認定・変更案3件、固定資産評価審査委員会委員を選任する同意案1件の35議案と追加で請願1件が上程されました。

審議の結果、行政組織条例の一部改正案（収納対策課の廃止）は否決、平成20年度一般会計補正予算案は総務委員会、平群町道路線の廃止・認定・変更の議案は経済建設委員会、請願は厚生委員会へ付託し、新年度予算案以外の議案は原案を可決・承認・同意されました。

2日目には、新年度一般会計及び特別会計予算案の総括審議の結果、予算審査特別委員会を設置し付託しました。

なお、町長より平成21年度一般会計予算の一部について、直近の議会で補正したい旨の報告がありました。

13日の本会議では13名の議員が質問通告に基づき一般質問を行いました。

最終日には付託を受けた各委員会の委員長が、審議結果を報告しました。

続いて、議員提案で町議会議員の行政視察等に関する規則の一部改正案1件、議会改革特別委員会設置の決議案1件、意見書1件が出されすべて全会一致で可決され、意見書は関係行政庁に送付することに決定し、本定例会に付議された議案はすべて終了し閉会いたしました。

第1回定例会 議事結果

案 件		結 果
条 例	平群町介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定について	原案可決（全会一致）
	平群町福祉作業所の設置及び管理に関する条例を廃止する条例について	//
	平群町立老人憩の家設置に関する条例を廃止する条例について	原案可決（賛成多数）
	平群町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決（全会一致）
	平群町行政組織条例の一部を改正する条例について	原案否決（賛成少数）
	平群町認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決（全会一致）
	公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例について	//
	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	//
	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	//
	平群町特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例について	//

案 件		結 果
条 例	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決（全会一致）
	平群町介護保険条例の一部を改正する条例について	//
予 算	専決処分の承認を求めることについて （平成20年度平群町一般会計補正予算（第6号））	//
	平成20年度平群町一般会計補正予算（第7号）について	//
	平成20年度平群町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	//
	平成20年度平群町水道事業会計補正予算（第1号）について	//
	平成20年度平群町下水道事業特別会計補正予算（第2号）について	//
	平成20年度平群町介護保険特別会計補正予算（第3号）について	//
	平成20年度平群町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	//
	平成21年度平群町一般会計予算について	原案可決（賛成多数）
	平成21年度平群町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について	原案可決（全会一致）
	平成21年度平群町国民健康保険特別会計予算について	原案可決（賛成多数）
	平成21年度平群町老人保健特別会計予算について	原案可決（全会一致）
	平成21年度平群町水道事業会計予算について	//
	平成21年度平群町下水道事業特別会計予算について	//
	平成21年度平群町農業集落排水事業特別会計予算について	//
	平成21年度平群町学校給食費特別会計予算について	//
	平成21年度平群町介護保険特別会計予算について	//
	平成21年度平群町奨学資金貸付事業特別会計予算について	//
	平成21年度平群町後期高齢者医療特別会計予算について	//
	平成21年度平群町用地先行取得事業特別会計予算について	//
他 の 議 案	平群町道路線の廃止について	//
	平群町道路線の認定について	//
	平群町道路線の変更について	//
	固定資産評価審査委員会委員の選任に同意を求めることについて	原案同意（全会一致）
請 願	第4期介護保険事業計画見直しにあたって、低所得利用者に対する介護サービス利用料軽減事業及び介護保険料軽減事業に関する請願書	不 採 択（賛成少数）
議 員 提 出 議 案	平群町議会議員の行政視察等に関する規則の一部を改正する規則について	原案可決（全会一致）
	議会改革特別委員会設置に関する決議	//
	「緑の社会」への構造改革を求める意見書	//

付 託 議 案

総務委員会委員長報告



委員長 繁 田 智 子

去る3月4日、平群町議会第1回定例会において、当委員会に付託されました。

平成20年度平群町一般会計補正予算(第7号)について

審議の結果を報告いたします。

今回の補正は、歳出の主なものとは人件費の調整、地域福祉基金積立ての増額、後期高齢者医療費で保険基金安定繰出金の増額、町外保育委託料の増額、観光交流センター整備補助金ならびに中学校大規模改修の予算措置、国庫補助基準の変更にとりまう平群駅周辺整備事業費の財源変更、公債費の借換えによる繰上償還元金の予算措置などです。

歳入の主なものとは、個人町民税所得割の増額とタバ

コ税の減額、利子割交付金等の減額、民生費国庫負担金の増額、土木費、教育費、総務費関連の国庫補助金の増額、民生費県負担金・総務費県補助金の増額、寄付金の増額、公共施設整備基金の繰り入れ、起債対象事業費の確定等による町債の増額措置と減収補填債の予算措置を行うものです。

継続費では中学校大規模改修事業の年割額の変更、年度内執行が見込めない事業の繰越明許費の設定です。

その結果、3億3,062万7千円を追加し、歳入歳出予算総額は71億347万3千円となります。

信貴山に予定されている、iセンター建設計画について質疑がありました。昨年夏ごろから、平城遷都

1300年記念事業にあわせて、信貴山観光協会が観光振興、地域振興に繋がるということ、施設建替計画が町に示された。県の地域活性化事業の補助採択が可能であろうということ、補助することになり、平群町から補助申請をしたとの答弁がありました。また、国の第2次補正予算で決まった、地域活性化・生活対策臨時交付金の使途は、iセンター以外に、21年度予算で上程する予定だったものを、前倒しして補正したとの答弁がありました。

臨時交付金の優先度について町の考えが問われました。平群町の活性化の柱の一つが観光政策であると認識しており、信貴山iセンターや道の駅の連携により、町の活性化が図れるとの考えで補正予算措置をした、との答弁がありました。

2010年のイベント終了後のiセンターの運営に関して危惧がある。町の指導や観光協会との協議をどのように進めようとしているのかとの質疑では、iセ

ンターは基本的には信貴山観光協会が管理運営するが、2010年以降の集客や活性化が非常に重要であり、継続して協議を煮詰めていく。また、信貴山iセンター、鳴川千光寺、ファーマーズマーケット、観光交流拠点、それらを一つのネットワークとしてどう進めていくかも含めて、今後積極的に取り組んでいきたい、との答弁がありました。

公共施設整備基金1億円の取り崩しや、今後の財政見通しについて質疑があり、即効性のある財政措置ということ、公共施設整備基金の取り崩しを行った。財政の見通しとしては、単年度収支は絶対赤字にしないということ、今回の補正予算づくりをしている。最終的に黒字にするためには、執行努力を引き続き徹底しなければならないし、節約に努めて不用額を残していくとともに、適正な執行管理を心がけている、との答弁がありました。

中学校の耐震工事スケジュールについての質疑に対

して、工事そのものは授業に差し障るので夏休みに行う。補正予算が可決成立したらできるだけ早く準備をして、工事が確実に夏休み中に終わるように進めたい、との答弁がありました。

公債費の繰り上げ償還については、小集落地区改良事業債と中学校柔剣道建築事業債を一括償還し、年利6・6%、6・3%、6・2%の分を1・8%から2%の金利に借替えたとの答弁がありました。

続いて討論を行いました。

今回の国の2次補正から出てきた6千万円余りは、住民の生活に役立つというのが基本だと思う。もう少し今の住民の暮らしを応援するものに使えるような方向で、町としての知恵や工夫をもっとすべきではなかったか。そのことを指摘した上で賛成したいという討論がありました。

採決の結果、全員異議なく可決することに決しました。

経済建設委員会委員長報告



委員長 植 田 いずみ

去る3月4日平群町議会第1回定例会本会議において、当委員会に付託を受けた3議案の審議内容と結果を報告いたします。

平群町道路線の廃止

平群町道路線の認定

を一括議題として審議を行いました。

路線見直しに伴う精査により当該町道が国道168号線平群上庄バイパスの供用開始路線の中に重複しているため用途廃止、民有地の道路寄付、開発行為による道路帰属に伴う当該道路を町道に認定、1級、2級、その他路線の路線見直しに伴う廃止、認定、変更を行うものであります。

質疑では、町道路線の見直しに伴う交付税算入の影響額についての質疑では、道路台帳を整備することに

より、平成22年度から毎年約400万円の交付税算入増が見込めるとの答弁がありました。

農免道路の名称についての質疑では、現在1路線しかないことから当面この名称でお願いしたい。

今後、関連する他の路線も含め一定精査すべき時期が来た段階で検討していきたいとの答弁がありました。

路線の見直しによる防犯灯の維持管理についての質疑では、21年度中に1級路線、幹線道路にかかる68灯について、自治会とも協議して町負担の方向で考えていきたい旨の答弁がありました。

3議案の審議の結果、全員異議なく原案どおり可決することに決しました。

厚生委員会委員長報告



委員長 窪 和 子

去る3月4日平群町議会第1回定例会本会議において、当委員会に付託を受けました請願の審査内容と結果を報告いたします。

第4期介護保険事業計画見直しにあたって、低所得利用者に対する介護サービス利用料軽減事業及び介護保険料軽減事業に関する請願書

本請願の要旨は、第4期介護保険事業計画見直しにあたり、低所得高齢者に対する介護保険料、介護サービス利用料の軽減制度を現行どおり継続することを求めるものであります。

紹介議員に対し要旨の詳細について質され、平群町は介護保険制度開始当初から低所得者に対し、保険料は半額軽減、利用料は10%を3%に行う軽減制度が実

今回の改正で影響を受ける人数についての質疑では、平成19年度決算数値で置き換えれば介護サービス利用料軽減事業で4名、介護保険料軽減事業で9名との答弁がありました。

県内で単独事業として取り組んでいる市町村についての質疑では、生駒市と大淀町と平群町の1市2町である旨の答弁がありました。

討論では、請願の中でも軽減制度の枠組みが存続されることは評価されており、制度の改正により影響を受ける方もいるが、他市町村の状況も考えれば、3%を7・5%に統一して制度を存続していく方がプラスであると考えます。また、来年度以降第4期介護保険料の基金も取り崩し、最大限努力して今までの枠組みを存続すれば、この請願の理由は、理解し難いとの反対の意見が出されました。

採決の結果、賛成者なく不採択とすべきものと決しました。

予算審査特別委員会委員長報告



委員長 山 田 仁 樹

去る3月5日平群町議会第1回定例会の本会議において、当委員会に付託を受けました**平成21年度一般会計及び特別会計予算12議案**に対する審議の結果を報告申し上げます。

一般会計予算

平成21年度一般会計予算の総額は64億9,500万円、前年度当初予算と比較して6億8千万円の増額となっております。

主な審議内容について、順次報告申し上げます。

《議会費・総務費》

一般管理費の事務委託料で職員採用試験実施に伴う経費が計上されているが、採用を何名予定しているのか質され、22年4月1日付で採用する職員について、6月に採用人数を確定し、8月に広報、ホームページ等で周知を行い、9月に1

次試験の実施予定と考えて

おり、今の段階では採用人数については確定していないとの答弁がありました。

コミュニティバス推進事業で、事業の拡大とルート変更について現在までの取り組みと、歳入の見込みについて質され、21年度は20年度と同じルートを考えており、21年度中に事業の拡充と運行ルートの変更等を考えていきたいとの答弁がありました。

《民生費》

老人福祉費の扶助費で、介護保険サービス利用料等軽減費として135万円を計上され、介護保険の利用料や保険料に対する軽減措置が大幅に狭められているのに予算の主要政策に位置づけをされているが、町の方針について質され、事業としては収入等の所得制限

の見直しにより対象範囲について若干の変更があったが、低所得者の負担軽減については、介護保険策定委員会でも議論いただき、制度の存続を第一義と考えて予算計上を行ったとの答弁がありました。

児童福祉総務費で、事業・業務委託料の内容について質され、次世代育成支援行動計画策定事業として21年度にアンケート調査及び計画策定までを行うとの答弁がありました。

学童保育運営費の指導員賃金について質され、15名の計上であり、21年度も保育料の値上げを行っていることから、教育環境の整備も含め特別支援の充実を図るため、配置しているとの答弁がありました。

《衛生費・労働費》

保健衛生総務費で産婦人科一次救急市町村負担金が措置されているが、事業目的及び内容について質され、奈良県で19年8月に起きた妊婦搬送事案を受けて、奈良県妊婦搬送事案調査委員会が設立された。現

在は病院郡臨番制を行っているが、在宅当番医制にすることで毎休日夜間に緊急体制を確保し、妊婦の安心安全に努めるということで、各町村への負担分を計上している。地域割については北和と中南和地域に分かれており、平群町は北和地域で、病院は近大医学部、奈良病院、市立奈良病院、奈良社会保険病院と3病院、診療所は5件という答弁がありました。

廃食用油の燃料化の実用化について質され、生駒市の清掃センターに機械を設置して廃食用油の精製を行い、清掃センターのパッカー車等の燃料に使用したいとの答弁がありました。また、廃食用油の回収場所は、役場前、道の駅、プリズムへぐりの3か所で行っているとの答弁が併せてありました。

緊急雇用創出事業について質され、実施時期は4月に雇用の募集をかけて、早ければ5月ぐらいから事業に取り組んでいきたいと考えている。雇用については、

現在失業者というのが第一義的な条件だと考えており、ハローワーク等を通じて募集するのが本意と考えるが、広報等で周知も一定視野に入れながら検討していきたいと考えている。また、原則6カ月未満の短期雇用となっているが、不測の事情が発生した場合は最長1年の雇用と考えている。基本的にこの事業は新規事業で、新たな史跡、観光施設を考えているとの答弁がありました。

不法投棄撤去の委託料が計上されているが、不法投棄の監視体制、撤去体制について質され、週に1回職員が巡っており、不法投棄があればその都度回収しているが、件数は増えており、今後パトロールを増やしたいとの答弁がありました。資源に転嫁できるものを分別して回収するためには、有価物回収、集団回収は大きな手法であるが、1年間の有価物の回収量と可燃物となった場合の焼却費用について質され、回収量は1,000トンで、焼却

費用は約3,300万円であるとの答弁がありました。

《農林水産業費・商工費・土木費・消防費》

焼酎「里の恵」の20年度の状況と今後の見通しについて質され、20年度は農業委員会、その他の団体の協力により、10・98トンの収穫があり、9トンを焼酎、1・9トン进行加工、学校給食に30キロを出荷した。焼酎は40度を1,800本製造し、2月14日から838本販売されており、25度は4,000本製造し、21年4月の販売を予定している。21年度についてはサツマイモの協力農家を増やしていく予定で、約12・5トンの収穫を見込んでおり、焼酎に約11トン、加工品に約2トンを出荷していく予定であるとの答弁がありました。

パスを横断することは想定をしておらず、安全に横断できると考えているとの答弁がありました。

公園管理費では公園の補修内容について質され、需用費の修繕料135万円は主に点検で出てきた遊具等の補修で、工事請負費200万円は地元要望に伴う工事や4個の遊具の取り替え費用であるとの答弁がありました。

駅周辺整備事業の予算について質され、通常費の25%、交付金の20%を平群町が負担して土地区画整理事業負担金5,600万円、都市再生で国庫補助金も含めて町から組合への補助金として3億5,000万円、職員の人件費を入れると4億1,500万円となる旨の答弁がありました。

《教育費》

小学校費で、駅周辺整備事業に伴う公有財産購入費の執行について質され、6月1日契約、6月30日支出予定で、期間利息も含めて計算をしているとの答弁がありました。

あすのす平群の図書購入費で、21年度60万円削減されていることについて質され、21年度は枠配分で予算を組む中、図書館運営基金の積立額も少なくなり、190万円の計上となった。子ども読書活動の推進計画を策定中であり、20年度に新たに寄付をいただいた浄財の活用も行って、町民のニーズに応えられるような図書館の充実を図ってきたいとの答弁がありました。

高校総体の市町村負担金の内容について質され、すべての市町村から負担をいただき、金額の基準を決めて割合が決まっており、平群町は300万円の負担になっていますとの答弁がありました。

また、経済効果について質され、教育委員会を中心に関係課と一定の議論を行っている。平群町の特色のある土産品の販売等について、くまがしステーションと既に話し合いをしており、経済効果を生み出すよう努力していきたいとの答

弁がありました。

《災害復旧費・公債費・予備費》

予備費の計上額について質され、一定の財政規模、一般会計の予算規模を鑑み、計上したとの答弁がありました。

以上が一般会計歳出全般の主な審議内容であります。続いて歳入の主な審議内容について報告いたします。

《歳入》

町民税の所得割の算出根拠について質され、20年度予算編成段階では住民税の税收を非常に厳しく見積もっていたが、21年度予算編成段階では経済状況が大きく落ち込んでいる状況の中で、退職された方が増えてきていることも勘案し、20年度当初予算よりも更に約2,200万円下がると見積って予算計上を行ったとの答弁がありました。

民生費負担金で、保育園の保護者負担金について質され、20年度の平均で積算し、所得の関係で前年度より下がっているとの答弁が

ありました。また、学童保育の保護者負担が増えている中での申込み状況について質され、20年度4月当初は168名、現在は139名で、退所理由としては、高学年では夏休みを境に家で留守番ができるとか塾に通うとのことで、財政的理由というのは聞いていない。21年度の申込み人数は現在119名だが、もう少し増える可能性はあるとの答弁がありました。

以上のような審議の内容であります。

《討論では、21年度の予算

はこの間の国の行き過ぎた地方切り捨てに対し、交付税の増額や緊急対策での財政支出の面等で約3億円の増収となっている中、少子化対策として妊産婦健診の14回の公費負担の拡充、ごみ減量対策として電動式生ごみ処理器の補助増額はあるものの、20年度に引き続き固定資産税の約1億円の住民負担増は据え置いたまま、高齢者や子どもへの福祉施策は切り捨てたまま、さらに学童保育料の引き上

げ、重度福祉年金の廃止、低所得者への介護保険料軽減制度の大幅な後退など、住民負担増、福祉切り捨てを更に進めようとしており、住民負担をかけずに財政改善を工夫するという知恵も努力もない予算となっている。高齢者や子どもが安心して暮らせるまちづくりを目指す予算とは到底考えられないことから、21年度一般会計予算については反対をするという意見が出されました。

一方、今回の予算書の中で特徴的なことは、予算額が前年度よりも少し上がっているが、主に駅前開発事業に対する買い戻し等で予算規模が大きくなったもので、例年だと財産収入で未確定財源の処理をしており、21年度は具体的に売る部分についてのみ財産収入を計上していることから、実際上の赤字の部分は雑入、その他の1億3,800万円で、19年度の赤字分と比較すると財政上の改善が認められていると考えている。これから取り組まな

ければならない課題は多いが、この予算書を基に一段と財政改革に向けての努力をお願いし、一般会計予算に賛成するという意見が出されました。

住宅新築資金等貸付事業

特別会計予算

本年度は貸付償還に要する経費と起債償還等の費用を計上しており、予算総額は7,281万7千円となっており。

質疑では、20年度の決算見込みと赤字見込みについて質され、21年1月現在で決算は約650万の単年度赤字見込みで、20年度末には累積赤字が約2,700万円となる旨の答弁がありました。

審議の結果、全員異議なく原案どおり可決することに決しました。

国民健康保険特別会計予算

質疑では、20年度と19年度の収納率と、20年度の単年度の決算見込みについて質され、収納率は20年度1

月末現在で82・9%、19年度同時期で84・5%となっており、決算見込みは単年度収支プラス1億700万円になるとの答弁がありました。

20年度の決算見込みを見てどのように感じているのか質され、単年度で黒字になり、今後高齢化が進んでいく中で多少なりとも財政運営に安定化が見られたというところで安堵しているとの答弁がありました。また、未確定財源がほとんどない状態で予備費を900万円組んでいるということは21年度の予算も黒字ということだが、保険料の引き下げを行う考えがあるのか質され、20年度に財政が黒字に好転していくということであれば、一定の財政調整基金に積み立てて、将来医療の状況が苦しくなったときのために蓄えをしていきたいと考えているという答弁がありました。

国民健康保険特別会計予算

質疑では、20年度と19年度の収納率と、20年度の単年度の決算見込みについて質され、収納率は20年度1

健康保険税の負担を押し付けた結果、20年度の決算見込みでは当初予算で組み込んでいた7千万円を超える赤字どころか1億円を超える黒字を出す結果となった。当然見込み違いの増税分は住民に返すため、引き下げを行うべきであるにもかかわらず、来年度においても増税した予算を押し付ける予算については反対をするとの意見が出されました。

一方、後期高齢者医療制度ができ、支援金分は幅広い方にお願ひしなければならぬ部分であり、財政的に余裕がある国保では還元やゼロにもできるが、平群町は大きな赤字を抱えており、その分を減少させることはますます国保財政を破綻に追い込むだけであり、1億円少しの黒字になったことで今までの赤字分を解消し、その少し余った部分を住民の皆さんに返すということは不可能であり、基金として積み立ててこれから来るであろう医療費のピークに向けて万全の態勢を

国民健康保険特別会計予算

質疑では、20年度と19年度の収納率と、20年度の単年度の決算見込みについて質され、収納率は20年度1

取るべきで、21年度はそれらを踏まえた上で、新しい方向に向かって踏み出す良いチャンスであり、この予算に賛成したいとの意見が出されました。

採決の結果、挙手多数により原案どおり可決することに決しました。

老人保健特別会計予算

審議の結果、全員異議なく原案どおり可決することに決しました。

水道事業会計予算

審議の結果、全員異議なく原案どおり可決することに決しました。

下水道事業特別会計予算

質疑では、現時点の接続可能数と接続数、予算では接続件数をいくら見込んでいるのか質され、21年2月末現在で接続人口が1,336人、供用可能人口が2,327人で、57・4%の水洗化率となっている。21年度の接続件数は、一般住居で80件を見込んでいるとの答弁がありました。

審議の結果、全員異議なく原案どおり可決することに決しました。

農業集落排水事業

特別会計予算

質疑では、現時点の加入対象者数、加入者数、加入率及び21年度の見込み数について質され、加入件数は対象件数90件に対して接続済みが30件で、33・3%の接続率、21年度は18件を見込んでいるとの答弁がありました。

審議の結果、全員異議なく原案どおり可決することに決しました。

学校給食費特別会計予算

審議の結果、全員異議なく原案どおり可決することに決しました。

介護保険特別会計予算

質疑では、地域包括支援センターの運営について質され、町が直営で行い、職員については保健師、社会福祉士、主任ケアマネが必要で、社会福祉士は外部の方を考えており、職員給与負担金で措置しているとの答弁がありました。新たな高額医療・高額介護合算制度が実施されるが、周知の方法について質され、広報掲載と7月に保険料通知

を行うときに説明書を同封したいとの答弁がありました。

審議の結果、全員異議なく原案どおり可決することに決しました。

奨学資金貸付事業

特別会計予算

審議の結果、全員異議なく原案どおり可決することに決しました。

後期高齢者医療

特別会計予算

審議の結果、全員異議なく原案どおり可決することに決しました。

用地先行取得事業

特別会計予算

質疑では、買い戻しをした後の活用についての町方針を質され、環境改善事業用地及び同和对策事業用地は資材置き場用地として活用し、総合スポーツセンター事業用地はお金をかけないで社会体育施設の整備を考えているとの答弁がありました。

審議の結果、全員異議なく原案どおり可決することに決しました。

平成21年度一般会計・特別会計予算総括

(単位：千円、%)

区 分		平成21年度 予算額	平成20年度 予算額	比 較	
				増減額	増減率
一般会計		6,495,000	5,815,000	680,000	11.7
特別会計					
住宅新築資金等貸付事業特別会計		72,817	87,047	△ 14,230	△ 16.4
国民健康保険特別会計		2,384,000	2,200,000	184,000	8.4
老人保健特別会計		13,058	243,000	△ 229,942	△ 94.6
下水道事業特別会計		427,800	404,700	23,100	5.7
農業集落排水事業特別会計		37,500	36,850	650	1.8
学校給食費特別会計		79,360	71,166	8,194	11.5
介護保険特別会計	保険事業勘定	1,107,311	1,139,412	△ 32,101	△ 2.8
	介護サービス事業勘定	10,661	8,121	2,540	31.3
奨学資金貸付事業特別会計		752	982	△ 230	△ 23.4
後期高齢者医療特別会計		218,477	221,000	△ 2,523	△ 1.1
用地先行取得事業特別会計		1,275,460	682,250	593,210	87.0
特別会計 計		5,627,196	5,094,528	532,668	10.5
企業会計					
水道事業収益		507,660	523,627	△ 15,967	△ 3.1
水道事業費用		498,677	516,026	△ 17,349	△ 3.4
資本的収入		23,160	8,601	14,559	169.3
資本的支出		68,244	58,237	10,007	17.2
収入 計		530,820	532,228	△ 1,408	△ 0.3
支出 計		566,921	574,263	△ 7,342	△ 1.3

同 意

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意を求めることについて

大西晃氏を固定資産評価審査委員会委員に選任することを全会一致で同意しました。



大西 晃 氏 (65)

表彰受賞

去る3月30日奈良県町村議会議長会定期総会において、自治功労者表彰を受賞されました。

全国町村議会議長会
町村議会議員特別表彰



馬本 隆夫 議長

請 願

第4期介護保険事業計画見直しにあたって、低所得利用者に対する介護サービス利用料軽減事業及び介護保険料軽減事業に関する請願書

請願の要旨

第4期介護保険事業計画見直しにあたり、低所得高齢者に対する介護保険料、介護サービス利用料の軽減

請願者

制度は現行どおり継続すること。

自治体キャラバン
平群町実行委員会

天野 勝弘
稲月 敏子

紹介議員

植田 いずみ
山口 昌亮
森田 勝

付託委員会

厚生委員会

奈良県町村議会議長会 議会議員十年表彰



奥田 幸男 議員



下中 一郎 議員

議員提出議案

平群町議会議員の行政視察等に関する規則の一部改正

提出者 高幣 幸生
賛成者 岡 嘉道

原案可決(全会一致)

議会改革特別委員会設置 に関する決議

提出者 高幣 幸生
賛成者 戎井 政弘
土井 重尋
岡 嘉道
森田 勝
植田 いずみ
山口 昌亮
奥田 幸男
山田 仁樹
窪 和子
池田 研二
繁田 智子
下中 一郎

原案可決(全会一致)

議会改革特別委員会
設置に関する決議内容

名 称

議会改革特別委員会

設置の根拠

地方自治法第110条及び委員会条例第5条

目 的

地方分権時代にあつて、二元代表制の一翼である議

決機関としてこれまで以上に監視、調査機能の充実に含め責任ある議会活動が求められている。

議会制度の見直しへの対応、より開かれたわかりやすい議会のあり方など、議会改革に向けての調査検討を行うために特別委員会を設置する。

委員の定数

7名

委員会の活動

本委員会は、閉会中も調査することができる。

構成メンバー

岡 嘉道
植田 いずみ
奥田 幸男
高幣 幸生
窪 和子
繁田 智子
下中 一郎

「緑の社会」への構造改革を求める意見書

提出者 窪 和子
賛成者 奥田 幸男
高幣 幸生

原案可決(全会一致)

第1回定例会(3月)一般質問

質問(1)

歳入の努力について



奥田 幸男

質問

町の歳入は不足し、収入確保には並々ならぬ努力をされていますが、もつと多岐にわたって収入を得なければならぬ。節減は勿論大切であるが、歳入の工面には新財政健全化計画に基づき都市計画の線引き、企業誘致、平群駅前区画整理事業等による町民税、固定資産税の増収を実施されようとしておりますが、将来の財源確保として次の点を考慮してはどうか。

- ①各駅前の自転車置場
- ②町有バスの運用
- ③町有地の有効利用

答弁

以上について土地借り上げ料謝礼その他支出を伴っているところもあって町民が等しく公平性の点からして負担するところはお願ひして財政健全化に向け真剣に取り組んで欲しい。

- ①有料化は厳しい。
- ②料金を徴収することは「道路運送法」で定め。
- ③「チーム20」等で売却も含め活用方法を検討。
- ④近隣市町村の状況も確認する中で実施。
- ⑤収納対策スタッフ会議設置規定を設け、自主財源確保の為に収納率向上に取り組む。



質問(2)

県道椿井王寺線について

質問

道路幅員が狭小で危険であり、早期に拡幅工事を！

答弁

現在、の進捗状況は！
本線は地籍混乱地域で工程的に大幅に遅れている。法務局と協議し早急に着手。

質問

町営墓地

建設計画について



岡 嘉道

質問

平群町は平成9年4月斎場を併設する公園墓地建設用地として福貴及び福貴畑地区の山林13,380㎡の土地を土地開発公社に4億6,900千円(坪単価116千円)で先行取得させているが、その後この土地は、今日まで何の利用もされず放置されたままであります。

その間に上乗せされた金利は7千万円を超えています。未だ事業化の気配もありません。

町民の3/4は町内に墓地用地を保有して

いない新住民であり、又、高齢化の急進行に伴い墓地のニーズは昔とは比較にならないほど拡大していると考えられます。

そこで、用地先行取得債と町民債を組み合わせた開発を提案致します。

開発に当たって、精細なアンケート調査を実施し町民のニーズと需要予測を的確に把握し、適正規模と着工時期さえ誤らなければ、開発に不安はないと確信致します。

町当局の考えをお聞かせ下さい。

答弁

当初は、斎場を併設する「やすらぎの丘墓地公園」構想の用地として取得した。

その後、別の場所に

斎場ができたことから、当初の目的が無くなったので、土地はそのままになっている。当初購入時、新住民約1千世帯を対象に墓地希望のアンケート調査を行ったが、希望率は11・8%と低く、この程度で推移しているとすれば、現在でも町内の民間業者が保有する墓地用地で十分対応可能と考えている。

但し、超高齢化社会の到来に伴い、墓地需要の変化を再調査する必要があると思われるが、今のところ時期等は未定。



質問

緑ヶ丘、若葉台等の建ぺい率

容積率の緩和について



高幣 幸生

質問
町の大事なことは人口増対策です。市街化区域の二世帯住宅を進める必要がある。本町から転出された方のUターンを考える必要がある。

今、検討されている椿台の建ぺい率・容積率と同様に緑ヶ丘、若葉台等の敷地面積60坪以上の建ぺい率・容積率を緩和してはどうか。

最近、大阪府は人口増と聴いている。これは大阪から他府県へ転出された住民が還流していると分析されている。

俗に言われる山下り現象の逆現象が起っている様です。2月1日現在県発表の人口統計では町は1万9,950人です。2万人超えの人口に戻す為に検討してはどうか。

答弁

緑ヶ丘・若葉台については、現行は第一種低層住居専用地域の建ぺい率40%・容積率60%の地域であり、ゆとりのあるベッドタウンとして良好な住環境の保全が維持されている。

例えば規制緩和されると居住面積が拡大され二世帯住宅の建築は可能になるが、一方で日照、眺望等、周囲の住環境を悪化する要因の恐れがあり規制緩和を実施するには当然地

域の方々の合意形成が必要になる。具体的に

は地区計画や建築協定の策定を行い良好な住環境の保全の担保を含め、慎重に考える必要がある。この地区については規制緩和を今は考えていない。

今後はニーズが高まれば進めていくのが本来のあり方と考える。

その他質問項目

- ①健民グラウンドの整備について
- ②町内史跡巡りのサイクルロードについて
- ③NCバスの路線変更について



質問

国保税の引き下げを



山口 昌亮

質問
昨年、1世帯平均で4万円以上も国保税を増税した結果、町の国保会計は単年度で1億円以上の黒字見込となっている。

私はこの間、昨年の増税がまったく根拠のないものだ、具体的な数字も示して指摘した。町長らは当初、(国保加入者の負担増は)国の医療制度変更による後期高齢者支援金分の徴収義務づけによるもので増税でない、支援金の負担増(加入者総額約1億2千万円)をしても国保会計は単年度で770

0万円の赤字になると説明してきた。この説明が間違いだったことになるが町長の認識はどうか。

答弁

大きな制度改正、情報が乏しい中、辛めの予算編成を行い、結果として、財政が好転していくことを選択した。国保財政の見通しは単年度1億766万円の黒字の見込み。歳入が予想より多く入ってくるようになったが間違っていたという認識はしていない。

増税かどうかについては意見が分かれるところであると考えている。

質問

今年度は1億円超の黒字が見込まれること、新年度も、制度の

変更がないことから、医療費がある程度伸びたとしても、この高い国保税によって、同様の黒字が予想される。大幅増税が間違いだったことを率直に認め、取りすぎた国保税を引き下げるべきだと考えるが、どうか。

答弁

本格的な高齢化のピークが4、5年先からはじまり、そこから10年から15年程度続いていくと考えている。国保財政が好転していくようであれば、財政調整基金に黒字分の積立を行い、本格的な高齢化のピークに備えたい。安定的な国保財政のためにも国保税の引き下げは困難と考えている。



質問

災害時の

避難支援対策について



窪 和子

質問

①災害時要援護者の対策について

災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者等の要援護者の皆さんを適切に避難させる体制を整備することが喫緊の課題であります。

そこで3点お尋ねします。災害時要援護者名簿の作成について。個人情報情報の過剰反応を防ぎ適切な運用の見直しに向けた取り組みについて。避難支援プランの策定について。

②「被災者支援システム」の活用について

被災を経験した兵庫

簿としては未完成であり、4月・5月で名簿やマップの作成を目指したい。

緊急時の情報発信は住民の生命財産を守る為、個人情報保護の正しい運用の周知をして参りたい。

県西宮市が開発した災害直後の自治体が担う業務を一括で管理できるように工夫したソフトが総務省より無料配布されたが、本町で活用しては。

③災害用仮設トイレの備蓄について

災害時のトイレ不足は深刻な問題です。断水が始まったその瞬間から、仮設トイレの設置が不可欠となるため、避難所での備蓄を早急に。



答弁

①災害時要援護者支援マニュアルに基づく名

その他質問項目

小中学校のユネスコ・スクールへの参加登録を

質問

町の「新しい財源の

創出」について



森田 勝

質問

政府の三位一体の改革によって、本町を含めた多くの自治体の財政は非常に厳しく、家計は火の車である。加えて百年に一度の経済危機により、平成21年度の一般会計予算の町税は平成20年より1億2千1百万円落込んで

いる。しかし、それをも言っても何の解決にもならない。町は前例踏襲主義を排除し、ゼロベ

ースで歳出削減に努め、国に頼らない自主財源の確保、即ち新しい財源を創出する必要

がある。そこで、次の新しい自主財源は何時

頃、どれ位の財源が確保できるのか。

①都市計画の変更、線引きの見直しによる、

②上庄地区の工場誘致

③信貴山iセンター（観光拠点）

④都市計画の見直しは平成22年度中の予定。

①国道168号線の沿道は、開発申請等手続きが必要で時期は未定である。

全ての商業店舗等が宅地化された場合、土地の固定資産税で概ね6000万円程度の増収が見込まれる。その他建物の固定資産税と法人住民税が想定される。

②上庄地区の企業誘致については、現在県関

係課も進めているが、誘地にまで至っていない状況である。なお、用地費や造成工事費、インフラ整備については、企業側で負担頂く方向で検討している。

②平群駅周辺整備事業は平成29年度に完成予定で、新たな税収として8千万〜1億円。ピーク時には1億5千万円を見込んでいる。

③信貴山iセンターは、本年12月完成予定。土地建物の固定資産税として35万円程度の税収を見込んでいる。



質問

協和橋東、国道168号線の 交差点改良について



山田 仁樹

質問

国道168号線は、県管理道路で県事業ですが、本町内の住民の安全安心を守る観点からの町の姿勢によって、県も考慮頂けると思うが、町の方針についてお聞きしたい。

国道の通行量は、昨今増加し協和橋東、国道168号線の交差点から南行き車両の渋滞が多くなっています。今後も今以上に通行車両が増加し渋滞も、より多くなってくると思われ、渋滞の要因は、南行き右折車両の待機による理由があると思われ、その上、医

交差点南行き右折レーンの新設の為に町有地売却の見直し、以上3点について、県の協議も含む町の考え方にについてお聞きします。

答弁

療機関、スーパー、くまがしステーション等による、バイパスの潤いの影響にもよるのか、国道東側の歩道を南方面に歩いてこれる方が、南側の横断歩道まで進まないで、旧椿井交番所の前を渡るうとされ、協和橋から北側へ進行しようとする車両と交錯する状況になり、大変危険な状況を目にします。

そこで、歩行者の安全確保及び国道の渋滞緩和という観点から、協和橋東、国道の交差点改良について提案します。1点目は、交差点北側横断歩道と歩行者用信号の設置、2点目は、協和橋北面上流側への歩道設置、3点目は、旧交番所側への道路拡幅による、国道



質問

介護保険料・利用料の 低所得者への軽減制度について



植田 いずみ

質問

平群町では、保険料・利用料の軽減制度を介護保険スタート時より行ってきました。

低所得者の方が保険料・利用料の負担が重く、必要な介護が受けにくい状態になら無いための制度です。それが介護度の進行を食い止める、維持する施策として平群町独自の施策として行ってきたことは、非常に大きな意味があります。しかし、21年度から制度としては残したものの、内容が大きく後退する方針が示されています。

利用料の対象から外れる方は3%→10%に、対象に残れたとしても3%→7・5%に利用料負担が増えることとなります。金額で約76万円（事業費の93%）のカットで、制度が廃止されたに等しいこととなります。

事例を幾つか紹介させていただきますと、ある方は、80万円以下で軽減対象に残ってもこれまで、3%で年間5万9千円の利用料が14万8千円になります。また、収入自体が対象外になる方では4万4千円の利用料が、14万6千円に跳ね上がります。

また、保険料の軽減についても基金が潤沢（残7千800万円）もあることから軽減制

度を後退させるべきではないと考えます。

低所得者を介護サービスから排除しないセーフティネットとしての軽減制度は、少なくとも現行制度を維持すべきではないでしょうか。

答弁

軽減制度としては残している。額の大きい少ないに関わらずこれが限界かなと思っている。



質問 (1)

人事評価システムの
確立について

池田 研二

質問

人事評価システムの確立は重要であり、財政改革と同時に取り組むべき課題であると主張し、繰り返し一般質問で取り上げて来ましたが、今になっても試行運用はされていません。一体、何時になったら出来るのか疑問を持たざるを得ません。そこで以下の3点について質問を行います。

①試行実施が遅れた理由と試行および本格実施の開始時期について

②人事考課シートの概略について

③評価結果の活用をどのように行うか。

答弁

①人事評価制度の研修を行い、慎重を期したため試行実施が遅れた。21年度の出来るだけ早い段階で試行を実施する。また試行を2年間行つて充分習熟してから本格実施に入る予定である。

②実績評価と能力評価および管理サポートの3本柱で考課を行う。

③本格運用が出来る段階になれば人事異動、昇格・降格等や人材育成に活用するつもりである。

質問

高齢者世帯や身体障害者の方で住民票等を町役場まで取りに来ることが困難な方に対して職員が宅配を行う自治体が増えています。

答弁

行政と住民が協働して町づくりを推進するというならば、実現すべきものと思うがどのように考えるか。

役場まで必要な書類を取りに来られない高齢者の方にはホームヘルパーさんに申請書を出してもらつて本人に届けてもらうことで対応出来ている。

全町を地区割りして職員が宅配を行う体制を作ることには困難である。



質問 (2)

職員による住民票等の
宅配サービスについて

質問

ふるさと再発見による
観光振興と地域活性化について

下中 一郎

質問

本町が、今後より一層観光振興を図っていくには、平群町ならではの特色ある観光をアピールしていくことが大切であります。平群町が売り出す特色ある歴史、観光資源として、役の行者が開かれた鳴川山千光寺の修験の行場を、今以上に、前面に打ち出す観光施策が重要であると考えます。特に、積極的にアピールをしていくのは、現在も女人禁制を守っている大峰山が開かれる前に、鳴川山が開かれ、元山上と呼ばれ、女性の入山も自由

であるということだと思います。

千光寺や地元観光協会とも連携し、観光業界・旅行業界や報道関係、情報を発信すべきだと考えるが。

それと共に、活動を開しつある青年団を中心とした若い世代の人達にも、平群町の良さ、ふるさとの良さを知ってもらい、再認識してもらつたために、千光寺の行場巡りの先導をしてもらえるような呼びかけや働きかけをし、町おこしのひとつとなるような考えがあるのか。

答弁

鳴川千光寺の観光振興策については、千光寺や観光協会と今後も引き続き協議を行い、

前向きに進めていく考えです。

平城遷都事業協会とも連携をとりながら、ガイドブックへの掲載や各マスコミへの情報発信も含めて協議をしており、旅行社とも相談をしているところでもあります。2010年を契機として、様々な手法を通じて千光寺の魅力をもPRし、集客につなげていきたいと考えています。また、行場巡りの呼びかけは、貴重なアイデアと受け止めており、千光寺や地元とも協議をし、町おこしのひとつとなるよう青年団に協力を求めていく考えです。



→ 千光寺の修験行場にある鉄の下駄

質問

本町の学校不適応児童の
現状と予防対策について

土井 重尋

小学校6件、中学校で5件あった。

今年度、小学校ではなし、中学校では確認されたものが3件であった。

体罰については、19年度20年度ともに小学校、中学校から報告されていない。

質問
小・中学生の学校不適応の児童の実態、また、「いじめ」と体罰の事例はあるのかどうか、あればその実態と予防対策についてお尋ねします。

答弁
長期欠席児童生徒数は、平成19年度は小学校で4名、中学校で21名であった。また、平成20年2月末で小学校3名、中学校17名であった。

「いじめ」については、平成19年度においては、ひやかし・からかい・悪口を言われるというのが最も多く、

するように学校に働きかけている。

また「いじめ」の早期発見に努めること、学校と家庭が連携することを十分に指導してまいりたいと考えている。

健全な子供達の成長に家庭での接し方、家庭教育が非常に重要な事は言うまでもなく、学校と家庭が共に連携して、学校不適応児童・生徒をなくすため引き続き指導を強めた。



質問 (1)

生活保護の相談、
申請などの現状について

戎井 政弘

対応していきたい。

質問

昨今の大不況下経済状況が急激に悪化する中、平群町において就業や住まいについて、

また、生活保護費の申請や相談等が急増するなどの現象が見られないか、それらにどう対応されているかを伺いたい。

答弁

生活保護についての相談は急増している。

昨年12月から今年2月までで前年同期ゼロから相談が8件、申請が7件あった。平群町においては地元民生委員、中和福祉事務所と連携しながら、迅速に

質問 (2)

求職者が多い昨今、有能な
人材の採用を考えてはどうか

質問
住民の一部からは本町の職員数が多いという声もよく言われる。これは単に人数の多少というより、住民の疑問や要望への理解が不十分であるとか、処

不満かも知れない。つまり厳しい現況に対応しきれない職員がいるとの見方をされているとも捉えられる。

一方で、いま募集をすれば有能な人材が採用出来ることは確実である。前倒し採用を実施し、前述の職員と配置転換することを考えてはどうか。

答弁

職員数は政策的な点も考慮にいれての比較でなくてはならない。

職員のスキルアップについては人事考課制度、研修、OJT等々を実施していく。採用については本年6月に公募したい。



質問 (1)

大字自治会育成交付金の
見直しについて

繁田 智子

質問

町では大字・自治会に対して従来から「運営補助金」を交付している。マイタウンへぐりや県政だよりを配布していただいております。その報酬も運営補助金に含まれていると思う。平成18年度から「大字自治会育成交付金」を出しているが、この交付要綱を見ても運営補助金との違いが明確ではない。また、育成交付金は大字総代や自治会長個人に対する交付になっており、町長が財政健全化のために見直している「個人給付」になっている

答弁

総代・自治会長が町とのパイプ役として会議の出席などさまざまな地域活動にかかる経費の一部を補填するための、実費弁償的な費用として配布している。一本化については昨年も賛否両論あった。今後については、論議をしながら、いろんな方向性を持って、検討していきたい。



質問 (2)

町職員の兼職
見直しについて

質問

町長は社会福祉協議会の会長を兼務し、副町長は地域振興センターやシルバー人材センターの理事長職にある。

また、町の職員が公益法人の事務局職員を兼務している。民間団体の役職に町の職員が関わっていることは好ましくない。早急に改善すべきではないか。

答弁

設立の経緯から町職員が事務職を兼務して運営業務に当たってきた。兼職の実態を総合的に精査し、必要性を見極めながら検討していきたい。

議員先進地視察

研修報告

議会運営委員会

委員長 高 幣 幸 生
委員 奥 田 幸 男

平成21年2月27日議員先進地視察研修を実施しましたのでその結果を報告いたします。

視察地

養父市衛生公園
兵庫県養父市八鹿町

視察事項

養父市衛生公園内し尿処理施設視察と処理工程等について

研修調査事項

し尿処理施設の概要

養父市の旧八鹿町に旧4ヶ町養父郡広域事務組合として当時約3万4千人のし尿処理人口の施設を建設された。その後、同地域は公共下水道の建設工事が進み、し尿処理規模が減る状況になった。その後、同施設は休止状態になった。

その後、民間企業と

の上澄み水に残留するCOD、大腸菌等を減少させ色素成分を脱色させる。

汚泥処理

工程 4

汚泥はアニオン系であり固化させるためにプラスイオンを持つ高分子凝固剤のカチオン系が必要の為、注入混合させ、86%を無色透明水にして放流、残りの14%は脱水ケーキとして焼却炉で灰にする。

上記工程により、キレイな水にして河川に放流、汚泥や臭気や煤塵も完全に処理が出来ていることを確認いたしました。

工程 2

微生物の硝化菌・脱窒素菌により窒素・有機物除去し、攪拌槽と、バッキ槽にて有機物を栄養源として活性化させる。

工程 3

燐、色度や微細浮遊物を除去し無色・透明化する。さらにオゾン発生装置でオゾン発生させ、凝集沈殿槽



→養父市衛生公園
し尿処理施設前

委員会活動状況

経済建設委員会

2月10日

- 【案件】・平群町道路線の廃止について
・平群町道路線の認定について
・平群町道路線の変更について

3月9日

- 【案件】・平成21年平群町議会第1回定例会付託議案について
(委員長報告参照)

総務委員会

2月19日

- 【案件】・土地開発公社経営健全化計画について
・観光交流センター整備補助事業について

3月9日

- 【案件】・平成21年平群町議会第1回定例会付託議案について
(委員長報告参照)

予算審査特別委員会

3月6日

- 【案件】・平成21年平群町議会第1回定例会付託議案について (委員長報告参照)

厚生委員会

2月20日

- 【案件】・平群町介護保険事業計画及び高齢者福祉計画について
・平群町福祉作業所について
・有価物集団回収助成金について
・家庭生ごみ自家処理容器設置補助金について
・平群町私立幼稚園就園奨励費補助金について
・水道使用料の未納状況について

3月10日

- 【案件】・平成21年平群町議会第1回定例会付託議案について
(委員長報告参照)

議会運営委員会

2月20日、3月4日

- 【案件】・平成21年平群町議会第1回定例会の議会運営について

議会改革特別委員会

4月1日

- 委員長・副委員長の互選について

議会のうらさき

2月

- 10日・経済建設委員会
19日・総務委員会
20日・厚生委員会
議会運営委員会
27日・議員先進地視察研修

3月

- 4日・第1回定例会(初日)
5日・本会議(新年度予算総括審議)
6日・予算審査特別委員会
9日・総務委員会
10日・厚生委員会
13日・本会議(一般質問)
17日・本会議(最終日)
26日・西和消防組合議会
王寺周辺広域市町村圏協議会
30日・県町村議会議長会
定期総会
31日・全員協議会

4月

- 1日・議会改革特別委員会
3日・郡町村議会議長会
6日・議会だより編集委員会
9日・王寺周辺広域市町村圏協議会
15日・議会だより編集委員会

編集後記

我が家は生物学的な分類でいくと、人間が5人とイヌ科のシースーが2匹、ネコ科の猫3匹(雑種)の5人と5匹の世帯である。日々にぎやかで動物園状態であるが、仕事を終え帰宅すると彼らがいつせいに迎えてくれる。疲れていてもなぜかしらホッとする。



少し前だが息子が反抗期で難しい時期、庭で飼っていた犬を屋内で飼いはじめた。しばらくすると息子の顔が穏やかになっていった。アニマルセラピーの効果かもしれない。その犬も一昨年に他界した。大所帯でエンゲル係数は高い我が家だが、子ども達が命の尊さ、大切さを感じてくれればと思っている。

植田 記